

平成22年8月決算期 決算説明資料

Cafe & Kitchen

MA MAISON

Cafe & Kitchen MA MAISON

平成22年10月18日

株式会社 大庄



DAISYO CORPORATION

～「日本の台所」になる～

担当部: 経営企画室

電話 : 03-5764-2229

FAX : 03-5764-2237

22/8月期決算の概要

DAISYO CORP.

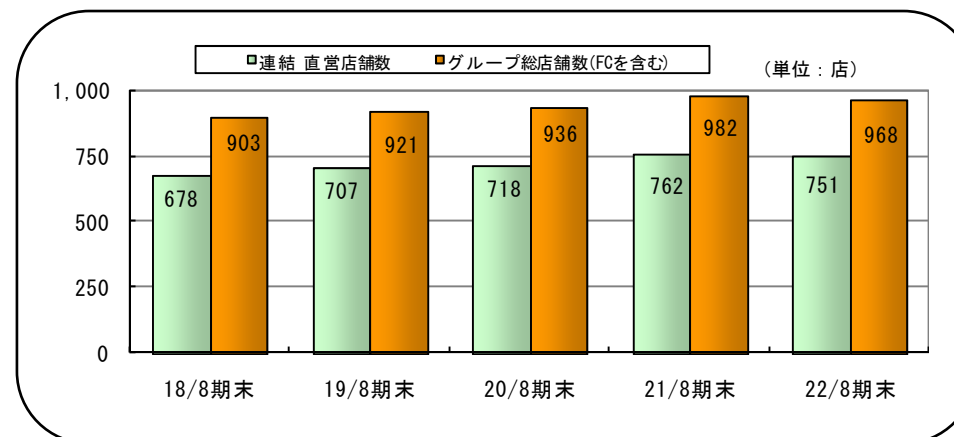
【単位：百万円】

連 結		21/8期	構成比	22/8期	構成比	前年同期比	増減率
	売上高	86,867	100.0%	83,711	100.0%	▲3,156	▲3.6%
	営業利益	579	0.7%	▲1,487	▲1.8%	▲2,066	—
	経常利益	1,111	1.3%	▲729	▲0.9%	▲1,841	—
	当期純利益	▲593	▲0.7%	▲1,545	▲1.8%	▲952	—

単 体		21/8期	構成比	22/8期	構成比	前年同期比	増減率
	売上高	71,500	100.0%	68,205	100.0%	▲3,295	▲4.6%
	営業利益	281	0.4%	▲1,426	▲2.1%	▲1,708	—
	経常利益	815	1.1%	▲677	▲1.0%	▲1,493	—
	当期純利益	▲908	▲1.3%	▲1,260	▲1.8%	▲351	—

1. 新規出店・改装店実績

	連結	単体	子会社
新規出店	16	16	0
店舗改装	39	31	8
閉店	27	20	7



業態別明細

	21/8期	新規出店	(うち、譲受)	改装	(うち、業態変更)	閉店	(うち、譲渡)	増減	22/8期
庄や	244	9	(2)	9	(6)	▲6		9	253
日本海庄や	141	4			(▲3)	▲3		▲2	139
やるき茶屋	84	2		1	(▲3)	▲4		▲5	79
うたうんだ村	77			4		▲2		▲2	75
榮太郎	18				(▲2)	▲2		▲4	14
中の濱	14			1	(▲1)	▲1		▲2	12
その他	94	1		16	(10)	▲2		2	96
大庄合計	672	16	(2)	31	(16)	▲20	0	▲4	668
築地寿司岩	27			1		▲4		▲4	23
築地日本海	23			2	(1)	▲1		▲1	22
塩梅	11			1	(1)	(▲1)		0	11
949	9			3	(1)			1	10
浜の母や	10					▲1		▲1	9
その他	10			1	(1)	▲1		▲2	8
子会社合計	90	0	0	8	(3)	▲7	0	▲7	83
連結合計	762	16	(2)	39	(19)	▲27	0	▲11	751

2. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
連結	968店舗	43/47県

(平成22年8月末現在)

拠点出店



地区ドミナント出店

北海道	0
-----	---

0店舗

1~10店舗

11~30店舗

31~100店舗

101~店舗

東北・北海道地方
28店舗
6県/7県

青森	5		
秋田	1	岩手	5
山形	2	宮城	6

中部地方
114店舗
9県/9県

中国・四国地方
14店舗
8県/9県

近畿地方
27店舗
7県/7県

九州・沖縄地方
20店舗
6県/8県

山口	2	島根	2	鳥取	1	兵庫	5	京都	2	福井	2	石川	4	富山	5	新潟	15	福島	9		
		広島	3	岡山	3					滋賀	2	岐阜	6	長野	13	群馬	9	栃木	11	茨城	15
長崎	5	佐賀	2	福岡	8			大阪	8	奈良	1	三重	7	山梨	6	埼玉	127			千葉	81
		熊本	2	大分	0			和歌山	2			愛知	41	静岡	22	神奈川	139	東京	383		
沖縄	0	鹿児島	1	宮崎	2																
						愛媛	1	香川	1												
						高知	1	徳島	0												

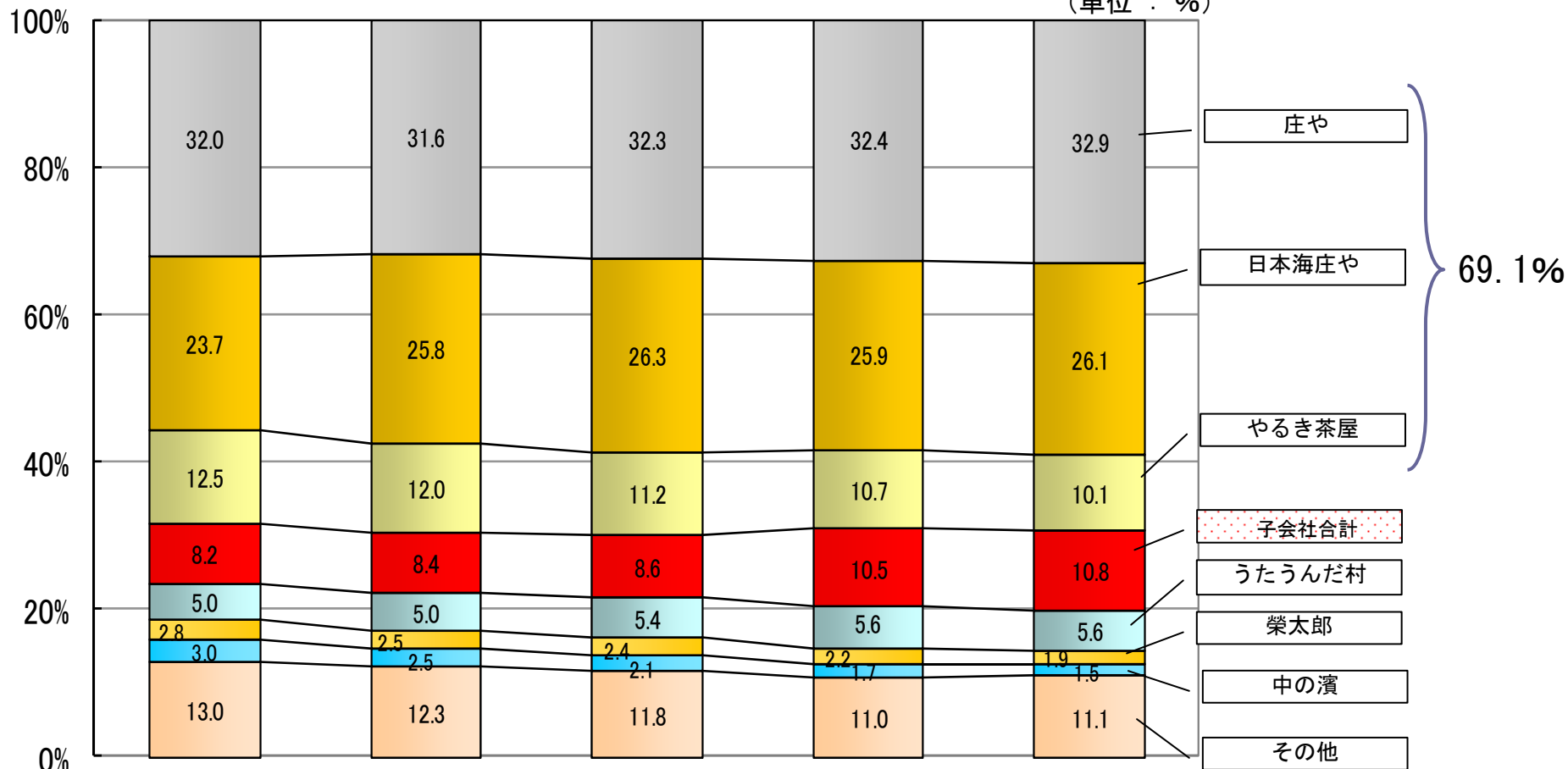
関東地方
765店舗
7県/7県

3. 売上高

(1) 業態別・店舗売上高構成の推移（連結）

【構成比】

(単位：%)



店舗売上高 (百万円)	18/8期	19/8期	20/8期	21/8期	22/8期
	74,364	76,941	77,489	75,312	72,113

▶ 主要3業態で店舗売上高の約7割を占める

3. 売上高

(2) 既存店売上高（対前年比）

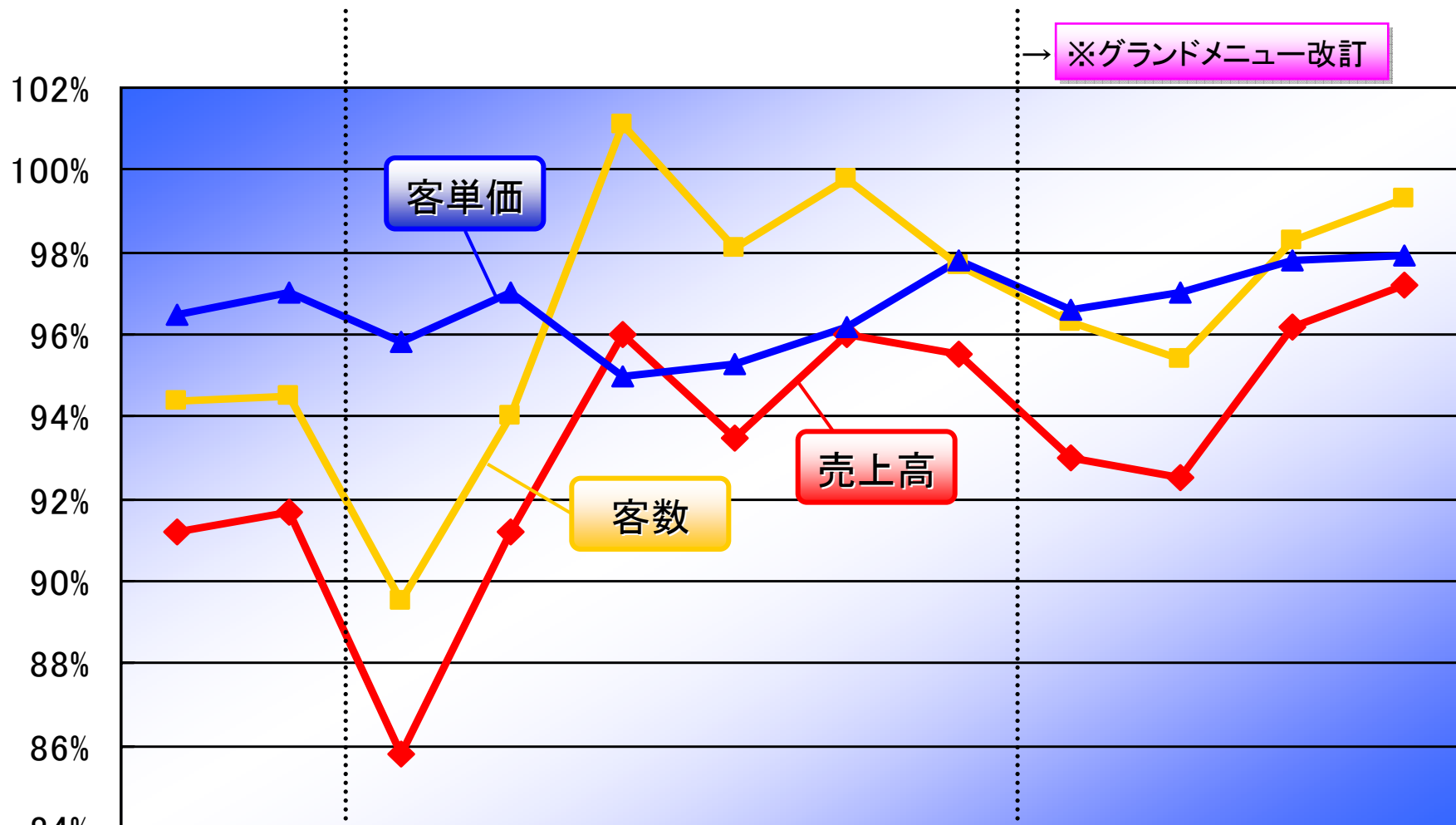
	連 結	単 体	子会社 (イズ・プランニング)
売 上 高	93.3%	93.3%	91.5%
客 数	96.5%	96.8%	93.8%
客 単 価	96.6%	96.5%	97.6%

◆主力業態の実績

	庄 や	日本海庄や	やるき茶屋
売 上 高	93.6%	93.3%	92.9%
客 数	97.2%	97.0%	96.8%
客 単 価	96.3%	96.1%	95.9%

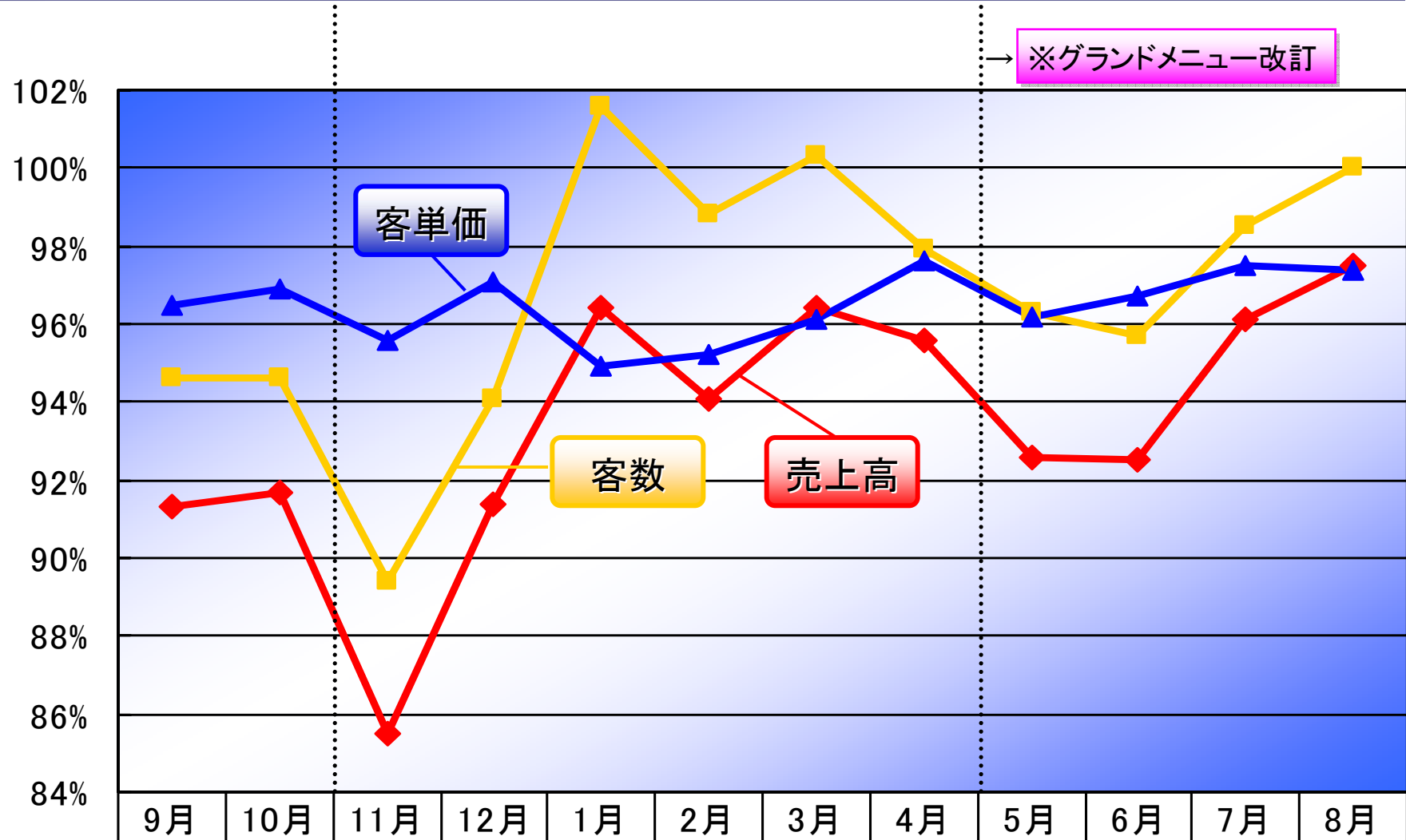
- 景気悪化、個人消費低迷、デフレ拡大等の流れ ~ 外食業界には大きな影響
- 節約志向、低価格化の流れの中で、中価格業態を中心とする当社は大きな影響を受けた
- 低価格業態の開発競争が激化する中での当社開発対応の遅れ
- 立地環境変化等に対する戦略対応の遅れ
- 労務管理体制の見直し、賃金制度改定、営業時間の見直しの中で、一部の店舗現場オペレーション体制が混乱

(3) 既存店売上高・客数・客単価の対前年比月別推移 (連結ベース)



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
◆ 売上	91.2%	91.7%	85.8%	91.2%	96.0%	93.5%	96.0%	95.5%	93.0%	92.5%	96.2%	97.2%
■ 客数	94.4%	94.5%	89.5%	94.0%	101.1%	98.1%	99.8%	97.7%	96.3%	95.4%	98.3%	99.3%
▲ 客単価	96.5%	97.0%	95.8%	97.0%	95.0%	95.3%	96.2%	97.8%	96.6%	97.0%	97.8%	97.9%

(4) 既存店売上高・客数・客単価の対前年比月別推移 (単体ベース)



◆ 売上	91.3%	91.7%	85.5%	91.4%	96.4%	94.1%	96.4%	95.6%	92.6%	92.5%	96.1%	97.5%
■ 客数	94.6%	94.6%	89.4%	94.1%	101.6%	98.8%	100.3%	97.9%	96.3%	95.7%	98.5%	100.0%
▲ 客単価	96.5%	96.9%	95.6%	97.1%	94.9%	95.2%	96.1%	97.6%	96.2%	96.7%	97.5%	97.4%

4. 営業利益

DAISYO CORP.

(1) 連結

【単位：百万円】

	21/8期	構成比	22/8期	構成比	増減額	比率差	備考
売上高	86,867	100.0%	83,711	100.0%	▲3,156	—	既存店売上93.3% 新規出店16店舗(うち、譲受2店舗)
売上原価	31,037	35.7%	30,322	36.2%	▲715	+0.5%	
売上総利益	55,830	64.3%	53,389	63.8%	▲2,440	▲0.5%	
販売費及び一般管理費	55,251	63.6%	54,876	65.6%	▲374	+2.0%	
人件費	29,346	33.8%	29,181	34.9%	▲165	+1.1%	
地代家賃	9,254	10.7%	9,318	11.1%	64	+0.5%	
水道光熱費	4,222	4.9%	3,903	4.7%	▲318	▲0.2%	
減価償却費	3,630	4.2%	3,387	4.0%	▲243	▲0.1%	
販売促進費	1,668	1.9%	2,070	2.5%	402	+0.6%	
消耗備品費	1,311	1.5%	1,306	1.6%	▲5	+0.1%	
衛生費	1,282	1.5%	1,253	1.5%	▲29	+0.0%	
その他	4,533	5.2%	4,455	5.3%	▲78	+0.1%	
営業利益	579	0.7%	▲1,487	▲1.8%	▲2,066	▲2.4%	

4. 営業利益

DAISYO CORP.

(2) 単体

【単位：百万円】

	21/8期	構成比	22/8期	構成比	増減額	比率差	備考
売上高	71,500	100.0%	68,205	100.0%	▲3,295	—	既存店売上93.3% 新規出店16店舗(うち、譲受2店舗)
売上原価	22,305	31.2%	21,243	31.1%	▲1,062	▲0.1%	
売上総利益	49,195	68.8%	46,962	68.9%	▲2,232	+0.1%	
販売費及び一般管理費	48,913	68.4%	48,389	70.9%	▲524	+2.5%	
人件費	25,035	35.0%	24,786	36.3%	▲248	+1.3%	
地代家賃	8,577	12.0%	8,662	12.7%	85	+0.7%	
水道光熱費	3,872	5.4%	3,578	5.2%	▲293	▲0.2%	
減価償却費	3,273	4.6%	3,010	4.4%	▲262	▲0.2%	
販売促進費	1,475	2.1%	1,789	2.6%	314	+0.6%	
消耗備品費	1,242	1.7%	1,239	1.8%	▲2	+0.1%	
衛生費	1,199	1.7%	1,181	1.7%	▲18	+0.1%	
その他	4,238	5.9%	4,140	6.1%	▲98	+0.1%	
営業利益	281	0.4%	▲1,426	▲2.1%	▲1,708	▲2.5%	

5. 経常利益・特別損失・当期純利益

DAISYO CORP.

(1) 連結

【単位：百万円】

	21/8期	構成比	22/8期	構成比	増減額	比率差	備考
売上高	86,867	100.0%	83,711	100.0%	▲3,156	—	
営業利益	579	0.7%	▲1,487	▲1.8%	▲2,066	▲2.4%	
営業外収益	900	1.0%	993	1.2%	93	+0.2%	
専売料収入	748	0.9%	798	1.0%	49	+0.1%	
その他	151	0.2%	195	0.2%	43	+0.1%	
営業外費用	367	0.4%	235	0.3%	▲131	▲0.1%	
支払利息	118	0.1%	120	0.1%	▲1	+0.0%	
社債利息	57	0.1%	63	0.1%	5	+0.0%	
その他	191	0.2%	52	0.1%	▲138	▲0.1%	
経常利益	1,111	1.3%	▲729	▲0.9%	▲1,841	▲2.2%	
特別利益	74	0.1%	140	0.2%	66	+0.1%	
特別損失	1,170	1.4%	1,173	1.4%	2	+0.0%	
減損損失	117	0.1%	741	0.9%	623	+0.8%	36店舗対象（前年同期は11店舗）
固定資産除却損	182	0.2%	323	0.4%	141	+0.2%	改装、閉店等に伴う除却など（改装39店舗、閉店27店舗）
店舗関係整理損	62	0.1%	59	0.1%	▲2	▲0.0%	閉店等に伴う解体費用、復帰費用など（同上）
固定資産売却損	0	0.0%	48	0.1%	48	+0.1%	2店舗分他
その他	807	0.9%	—	—	▲807	▲0.9%	21/8期は特別賞与617を含む
税引前当期純利益	15	0.0%	▲1,761	▲2.1%	▲1,776	▲2.1%	
法人税等	608	0.7%	▲216	▲0.3%	▲824	▲1.0%	
当期純利益	▲593	▲0.7%	▲1,545	▲1.8%	▲952	▲1.2%	

5. 経常利益・特別損失・当期純利益

DAISYO CORP.

(2) 単体

【単位：百万円】

	21/8期	構成比	22/8期	構成比	増減額	比率差	備考
売上高	71,500	100.0%	68,205	100.0%	▲3,295	—	
営業利益	281	0.4%	▲1,426	▲2.1%	▲1,708	▲2.5%	
営業外収益	848	1.2%	934	1.4%	86	+0.2%	
専売料収入	726	1.0%	759	1.1%	33	+0.1%	
その他	122	0.2%	174	0.3%	52	+0.1%	
営業外費用	314	0.4%	185	0.3%	▲128	▲0.2%	
支払利息	92	0.1%	102	0.1%	9	+0.0%	
社債利息	49	0.1%	49	0.1%	0	+0.0%	
その他	172	0.2%	34	0.0%	▲138	▲0.2%	
経常利益	815	1.1%	▲677	▲1.0%	▲1,493	▲2.1%	
特別利益	72	0.1%	133	0.2%	60	+0.1%	
特別損失	1,419	2.0%	926	1.4%	▲492	▲0.6%	
減損損失	83	0.1%	691	1.0%	607	+0.9%	35店舗対象（前年同期は11店舗）
固定資産除却損	182	0.3%	140	0.2%	▲42	▲0.1%	改装、閉店等に伴う除却など（改装31店舗、閉店20店舗）
店舗関係整理損	59	0.1%	49	0.1%	▲10	▲0.0%	閉店等に伴う解体費用、復帰費用など（同上）
固定資産売却損	0	0.0%	45	0.1%	45	+0.1%	2店舗分
その他	1,092	1.5%	—	—	▲1,092	▲1.5%	21/8期は特別賞与617、投資有価証券評価損312を含む
税引前当期純利益	▲530	▲0.7%	▲1,470	▲2.2%	▲940	▲1.4%	
法人税等	378	0.5%	▲210	▲0.3%	▲588	▲0.8%	
当期純利益	▲908	▲1.3%	▲1,260	▲1.8%	▲351	▲0.6%	

6. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	21/8期	22/8期	増減額		21/8期	22/8期	増減額
現預金	7,148	7,289	140	買掛金	2,557	2,519	▲37
売掛金	2,113	2,269	156	未払金	3,733	3,065	▲667
棚卸資産	905	769	▲135	借入金(長短)	8,552	11,789	3,237
未収入金	359	57	▲302	社債	3,892	3,857	▲35
その他	1,339	1,342	3	その他	3,465	4,824	1,359
流動資産	11,865	11,727	▲137	負債合計	22,200	26,056	3,855
有形固定資産	25,428	23,505	▲1,922	資本金	8,626	8,626	—
無形固定資産	1,268	1,266	▲1	資本剰余金	9,908	9,908	—
敷金・保証金	14,211	14,010	▲200	利益剰余金	13,977	11,998	▲1,978
その他	1,002	1,607	604	自己株式	▲734	▲4,232	▲3,497
固定資産	41,910	40,390	▲1,519	その他	▲201	▲238	▲37
資産合計	53,776	52,118	▲1,657	純資産合計	31,575	26,062	▲5,513
				負債・純資産合計	53,776	52,118	▲1,657

	21/8期	22/8期	増減額(率)
有利子負債	12,445	15,647	3,202
現預金	7,148	7,289	140
NET有利子負債	5,296	8,357	3,061
自己資本比率	58.4%	49.7%	▲8.7%
有利子負債依存度	23.1%	30.0%	+6.9%

※ 自己株式
22/3月テーブルマーク(株)グループより
3,041千株を取得

7. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

	21/8期	22/8期	増減額
1. 営業活動CF	3,229	2,372	▲857
税引前利益	15	▲1,761	▲1,776
減価償却費	3,639	3,392	▲247
法人税等	▲1,275	▲195	1,079
その他営業CF	850	937	87
2. 投資活動CF	▲2,504	▲1,334	1,170
有形固定資産の取得	▲1,897	▲1,311	586
敷金・保証金の差入支出	▲373	▲87	286
その他投資CF	▲233	64	297
フリーキャッシュ・フロー	(725)	(1,038)	(313)
3. 財務活動CF	▲838	▲897	▲59
短期借入金の純増減額	▲780	3,235	4,015
長期借入金の純増減額	514	2	▲512
社債の純増減額	386	▲35	▲421
(有利子負債の増減額)	(120)	(3,202)	(3,081)
自己株式の取得	▲499	▲3,497	▲2,998
その他財務CF	▲459	▲601	▲142
4. 現金及び現金同等物の増減額	▲112	140	253

【単位：百万円】

8. 関係会社の状況

➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	22/8期売上高	議決権の所有割合	備考
(株)イズ・プランニング	料理飲食業	東京都大田区	300	5,997	100.0%	・ 寿司割烹「築地日本海」無国籍料理「949」和風創作料理「塩梅」「浜の母や」を柱に店舗展開
米川水産(株)	生鮮魚介類等の卸売業	東京都中央区	90	5,178	100.0%	・ 築地市場での買参権を保有 ・ マグロなどの魚価高騰への対策強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都品川区	99	4,077	100.0%	・ グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・ 外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネスプロデュース	不動産賃貸管理 煙草・飲料販売	東京都中央区	60	676	75.0%	・ ソシアルビルの転貸業務が柱 ・ グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
(株)アルス	病院・事業用給食施設の運営	東京都大田区	80	1,982	63.0%	・ 病院給食事業が柱 ・ 「アルスケータリングシステム」による弁当事業
新潟県佐渡海洋深層水(株)	飲料水等の製造・販売	新潟県佐渡市	96	349	※100.0%	・ 海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造 ・ 大庄ブランドのsado-C50は当社製造
(株)壽司岩	寿司飲食・販売	東京都大田区	50	2,080	100.0%	・ 高級立ち寿司業態「築地壽司岩」を有名百貨店や空港で店舗展開 ・ 「おせち」「催事」の他、JR東京駅等の駅弁開始

※ 21/12月に新潟県佐渡海洋深層水(株)の株式を買増して100%子会社となった。

➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	22/8期売上高	議決権の所有割合	備考
(株)エム・アイ・プランニング	酒・飲料等の配送業	東京都葛飾区	10	2,530	20.0%	・ 当社並びにF C店舗に酒・飲料等を配送



23 / 8月期 公表計画の概要

23/8月期 公表計画

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

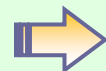
連 結		22/8月期 実績	構成比	23/8月期 計画	構成比	前年同期比	前期比	23/上期 計画	構成比
	売上高	83,711	100.0%	83,200	100.0%	▲511	—	42,150	100.0%
	営業利益	▲1,487	▲1.8%	900	1.1%	2,387	+2.9%	120	0.3%
	経常利益	▲729	▲0.9%	730	0.9%	1,459	+1.8%	40	0.1%
	当期純利益	▲1,545	▲1.8%	▲950	▲1.1%	595	+0.7%	▲1,070	▲2.5%

単 体		22/8月期 実績	構成比	23/8月期 計画	構成比	前年同期比	前期比	23/上期 計画	構成比
	売上高	68,205	100.0%	67,500	100.0%	▲705	—	34,200	100.0%
	営業利益	▲1,426	▲2.1%	870	1.3%	2,296	+3.4%	120	0.4%
	経常利益	▲677	▲1.0%	720	1.1%	1,397	+2.1%	50	0.1%
	当期純利益	▲1,260	▲1.8%	▲900	▲1.3%	360	+0.5%	▲1,030	▲3.0%

1. 店舗計画

(1) 既存店売上計画 (対前年比)

23/8期 計画 100%



上期:99%、下期:101%を見込む

(2) 新規出店計画

	22/8月期 実績	23/8月期 計画
連 結	16 店舗	10 店舗
単 体	16 店舗	5 店舗
子 会 社	0 店舗	5 店舗

➤ 新規出店は抑制方針

➤ 新業態のテスト展開を含む

1. 店舗計画

(3) 改装店(業態転換を含む)及び閉店計画

	改 装	閉 店
連 結	50 店舗	40 店舗
単 体	40 店舗	40 店舗
子 会 社	10 店舗	—

※ 参考

新業態のテスト展開

→ 「ジョン万次郎Ⅱ世」(3店舗)

「鳥キング」(3店舗)

「大庄水産」(2店舗)

「呑んき」(3店舗)

(平成22年9月末現在)

2. コスト削減計画

(1) 売上原価

- ① 前期まで「営業外収益」で計上していた「専売料収入」を
「売上原価の割戻し」計上に変更
→ 連結 ▲800百万円 、 単体 ▲760百万円 を見込む
- ② MD戦略による実質原価率の低減
→ 連結 ▲0.2% 、 単体 ▲0.3% を見込む

(2) 販売費および一般管理費

- ① 家賃引下げ交渉強化による「地代家賃」の削減
- ② 「販売促進費」の効率的使用による削減

3. 特別損失

➤ 店舗改装、統廃合に伴う固定資産除却損等

(単位：百万円)

	連結		単体	
	22/8期実績	23/8期見通	22/8期実績	23/8期見通
特別損失見込	1,173	※ 1,500	926	1,460

※ 内訳

- ① 資産除去債務 640百万円 (第一四半期計上予定)
- ② 固定資産除却損 500 //
- ③ 減損損失 320 //
- ④ 店舗関係整理損 40 //



23 / 8 月期 重点取組み課題

1. 店舗リストラクチャリングの強化

▶ 不採算店舗のリストラクチャリング

→ 十分な現状分析の上、営業継続、改装（業態転換含む）、閉鎖の3つの事業再構築方針を明確化

	連 結	単 体	子 会 社
改 装	50 店舗	40 店舗	10 店舗
閉 鎖	40 店舗	40 店舗	—

2. MD (マーチャндаイジング) 戦略の抜本的見直し

DAISYO CORP.

- ▶ 店舗業態別・基本コンセプトの再構築
 - 主力3業態より早急に実施
- ▶ メニュー構成の見直し
 - グランド、季節(旬)、日替りおすすめの各メニュー
- ▶ 使用食材の見直し、絞込み
- ▶ 仕入業者や取引内容の見直し
- ▶ メーカー等とのメニュー開発協力体制の強化

3. 店舗業態戦略の革新

- ▶ **主力3業態のブラッシュアップ**
 - 「こだわり」「強み」「売り物」のさらなる明確化
 - 「圧倒的なお得感」を鮮明にする、など...
- ▶ **多業態店舗の「選択と集中」の推進**
- ▶ **低価格志向に対応した業態をテスト開発**
 - 早急に収益体制を確立し、店舗展開を検討
- ▶ **将来を見据えた「新業態」開発の取組み**

4. 営業施策の見直し

- ▶ **新しい販促媒体の活用**
 - 「携帯モバイル会員」の獲得強化と会員向け情報発信
- ▶ **成果報酬型の新人事制度の導入**
- ▶ **店舗営業力の強化**
 - オペレーションの向上・・・QSCのレベルアップ
- ▶ **店舗組織体制の見直し**
 - 業態別管理の強化

5. コストコントロール策

- ▶ MD戦略による「食材・飲料仕入原価」の低減
- ▶ 「店舗家賃」の引下げ交渉の強化
- ▶ 「販売促進費」の効率的な使用
- ▶ 「人件費」コントロール

6. 「新物流センター」構想の推進

- 9月末に「東京都足立北部流通団地」に土地取得（約3,000坪）
- 現在の品川物流センターを中心としたグループ内の配送拠点
分散化を集約し、物流業務を効率化
- 「生鮮三品に酒・飲料類も含めた総合食材卸売会社」として
卸売事業を第2の柱事業に
→ 全温度帯食材の一括販売・配送を実現